

サノフィが支援する日本糖尿病学会賞 「女性研究者賞」第4回受賞者が決定 - 女性医師の糖尿病研究業績を表彰 -

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岩屋孝彦、以下「サノフィ」)では 2019 年より糖尿病研究における女性医師の業績を表彰する、日本糖尿病学会賞「女性研究者賞」を支援しており、第4回目の受賞者が決定しましたので、お知らせいたします。

授与式は、一般社団法人 日本糖尿病学会(理事長:植木 浩二郎、所在地:東京都文京区、以下「日本糖尿病学会」)が開催した、第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会(5月12日から5月14日)にて、5月12日に行われました。受賞者は以下の方です。

受賞者(所属)	高橋 倫子 (北里大学 医学部 生理学 主任教授)
研究業績	生物物理学的手法を用いたインスリン開口放出機構の解明

日本糖尿病学会の会員医師に占める女性医師の割合は約 35%と、国内の医師総数に占める女性医師の割合(約 22%)を超えています¹。サノフィはダイバーシティを推進し女性の活躍支援に積極的に取り組んでいることから、さらなる女性研究者の活躍を目指した本賞を昨年より支援しています。受賞者は毎年 1名、顕著な糖尿病研究業績をあげた会員の女性医師から選ばれ、盾と奨励金 50 万円が授与されます。

日本糖尿病学会の植木浩二郎理事長は「高橋先生、女性研究者賞受賞大変おめでとうございます。インスリン分泌機構解明に関するこれまでの先生の多大なご貢献の賜と思います。これからも女性研究者のみならず糖尿病研究におけるリーダーとしてますますのご活躍を祈念しています」と祝辞を述べています。

受賞された高橋先生は、「この度は日本糖尿病学会賞 女性研究者賞を賜り大変光栄に存じます。ご関係の先生方、ならびに研究を進めるにあたり、ご指導とご支援をいただきました方々に心より御礼申し上げます。今後も基礎医学の方面から、糖尿病学に貢献する道を模索するとともに、研究者が挑戦を継続できる環境づくりに向けて、努めてまいりたいと存じます。」と抱負を述べられました。

サノフィのジェネラルメディクスビジネスユニット ジェネラルマネジャー代行の浅海和香は、「糖尿病はまだまだアンメットニーズのある領域です。

糖尿病治療薬の提供のみならず、新しいテクノロジーを融合したアプローチにより、先生方へ最新・最適な情報を適切なタイミングでお届けし、日本の糖尿病患者さんが安心して治療を継続できるよう努めるとともに、これからも女性の活躍推進に向けて傾注してまいります」とコメントしています。

サノフィについて

サノフィは、人々の暮らしをより良くするため、科学のもたらす奇跡を追求する、というゆるぎない使命を原動力に進み続ける革新的でグローバルなヘルスケア企業です。約 100 カ国の社員は、医療を変革し、不可能を可能に変えるため、日々研鑽に努めています。私たちは、社会的責任と持続可能性を企業の本質とし、画期的な医薬品や生命を守るワクチンを開発し、世界何百万もの人々に届けていきます。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。